

関城跡 ～信長の東美濃侵攻に対抗した山城～

安桜山の山頂（標高 152m）には、いくつかの曲輪や堅堀などの山城の遺構が残っています。城主は定かではありませんが、美濃守護代・斎藤家の家臣で、関地域を治めた長井隼人と言われています。

1561（永禄4）年、斎藤義龍の病死を契機として、信長は東美濃に侵攻します。東美濃では、長井隼人と佐藤紀伊守忠能（加治田城）岸勘解由（堂洞城）は同盟を結んでいましたが、『信長公記』によると信長は佐藤氏を味方に引き入れます。この策略により、信長は1565（永禄8）年8月2日、岸勘解由が守る堂洞城を佐藤氏の軍勢とともに攻め、激戦により一日で堂洞城は落城します。

『堂洞軍紀』には、同日、長井隼人が加治田城を攻めたとありますが、劣勢となって敗走し、関に退却したとあります。9月1日、織田の軍勢は関城を包圍し、大軍を前に長井は抵抗をあきらめ、城を捨てて稲葉山城へ退却したといわれます。

稲葉山城を攻め落とすには、関は戦略上重要な場所であり、堂洞城攻略から関城包圍に至る戦いは、天下統一を夢見た信長の第一歩でした。



織田信長の東美濃侵攻の経路図

参考文献 横山住雄 2012『織田信長の尾張時代』
美濃加茂市・坂祝町・富加町『夕雲の城』

第1回 関の城跡めぐり～関城（安桜山）攻略の巻

令和2年

12/13（日）

日時： 12月13日（日）午前10時～正午（予定）

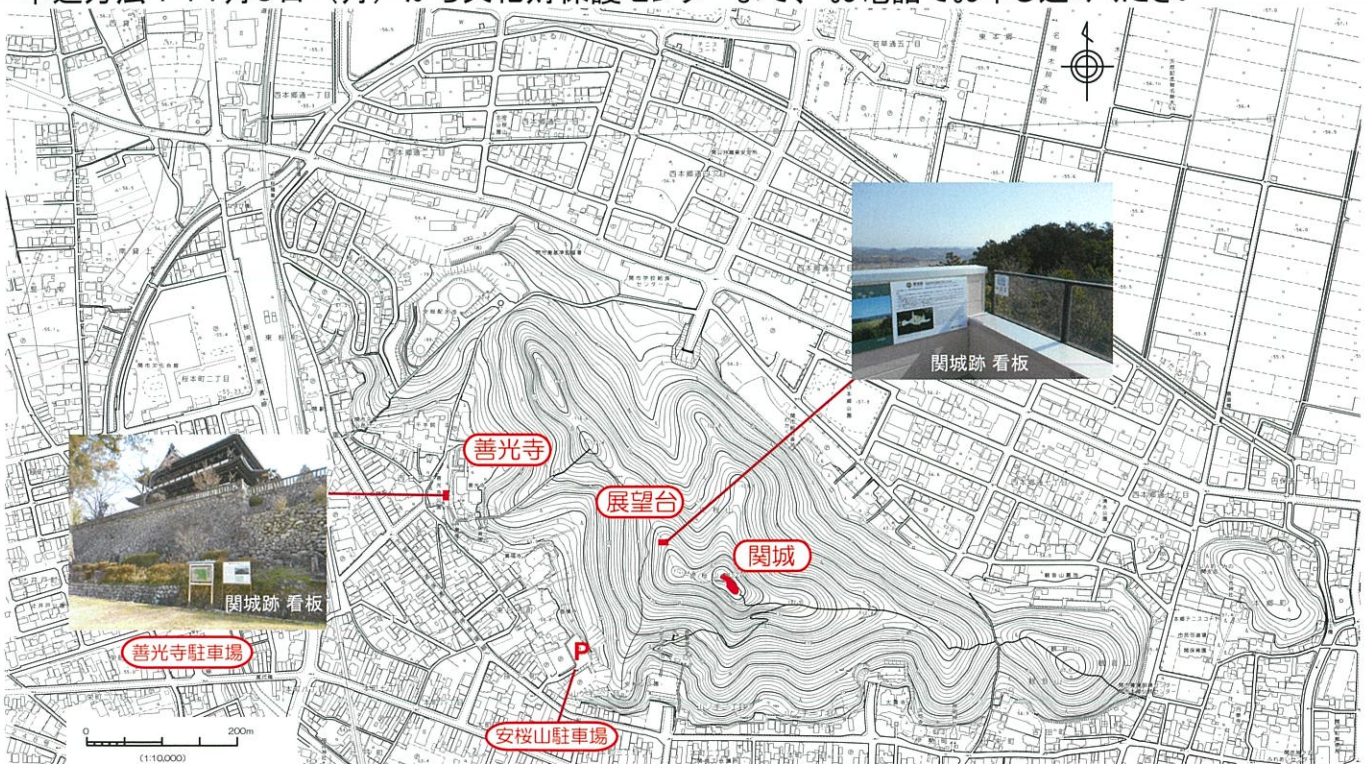
場所： 安桜山駐車場 **少雨決行！！**

参加費： 無料

定員： 20名

申込方法： 11月9日（月）から文化財保護センターまで、お電話でお申し込みください

関城案内看板を紹介し、安桜山を登り
関城跡を見学します！
参加者全員に関市城跡マップをプレゼントします！！



お知らせ 第2回 迫間城 令和3年1月17日（日） 第3回 小野城 令和3年3月7日（日） ※詳細は広報で

申込み先

関市文化財保護センター

〒501-2695 岐阜県関市武芸川町八幡 1446 番地 1

TEL 0575-45-0500 FAX 0575-46-1221